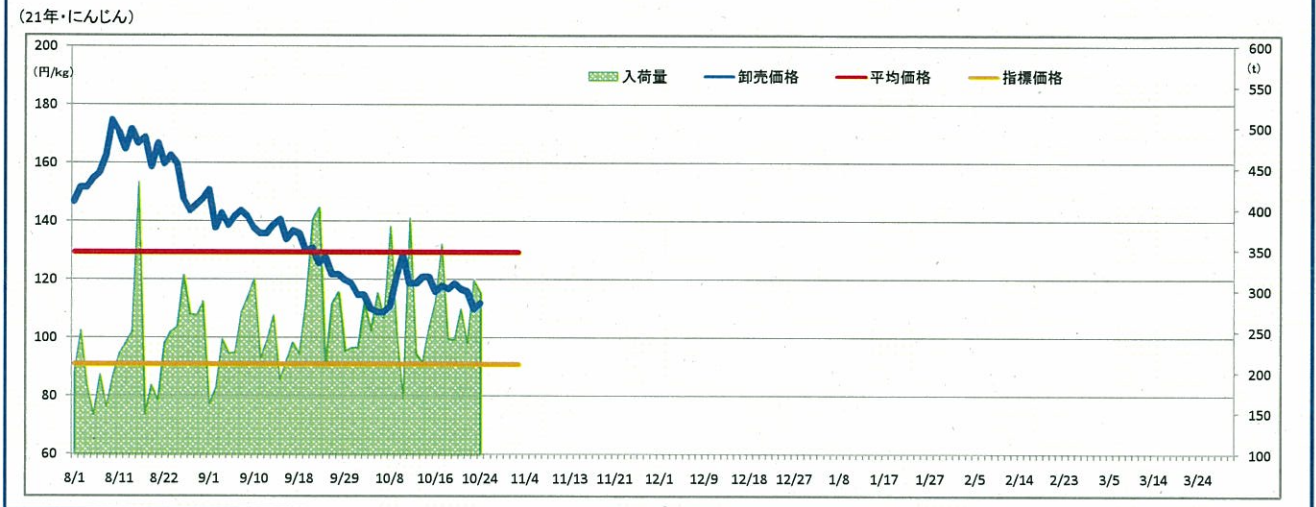
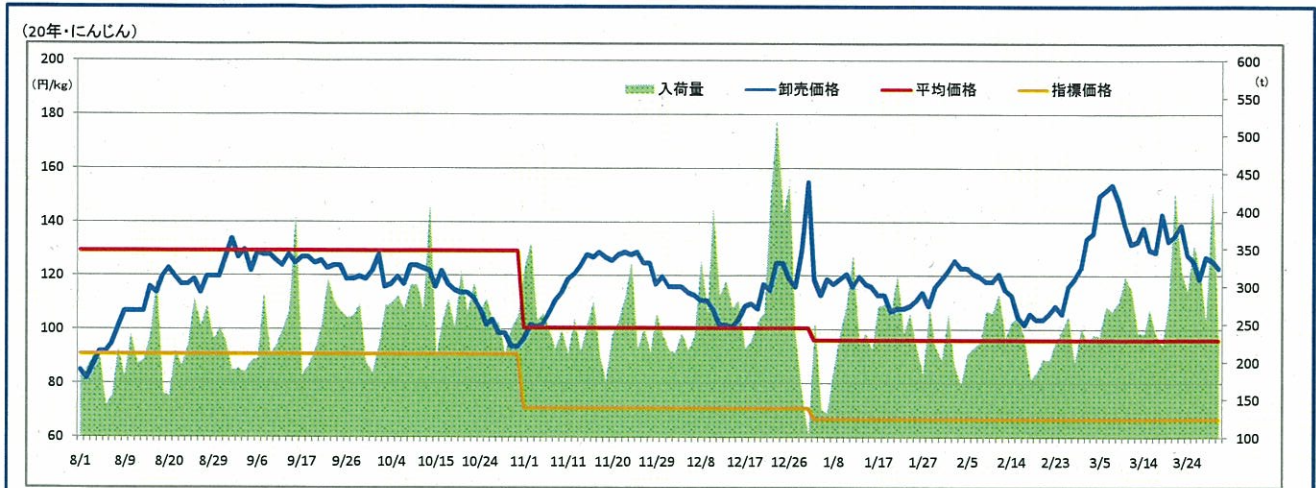


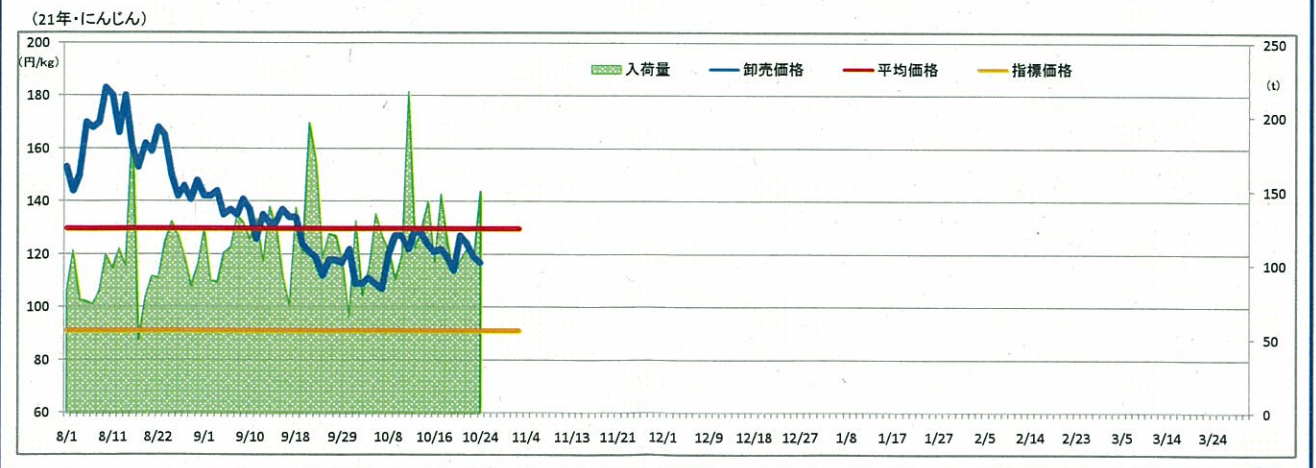
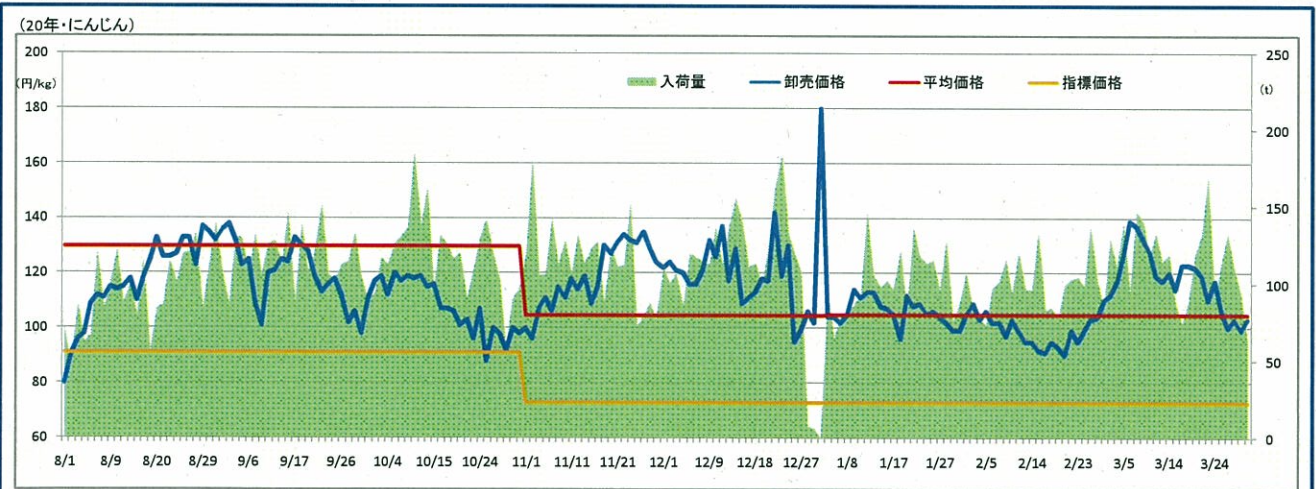
冬にんじん(11月～3月)の需給・価格動向

1. これまでの入荷量と価格の推移

① 東京都中央卸売市場



② 大阪市中心卸売市場



2 生産出荷をめぐる状況

(1) 供給計画

平成 21 年の冬にんじんの供給計画によると、全農が 6 月に策定した当初計画においては、作付面積は対前年比 100%（系統共販分）、前年はゲリラ豪雨等により、圃場の冠水や土壌流出などの影響を受けた分、本年は 10 7-ル当たり収量 110%を見込み、出荷量は 111%としたところである。（※確定計画は 10 月末日に確定）

○当初計画 (21 年 6 月時点)

作付面積 (ha)			10a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)			出荷量 (t)		
21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比	21 年	20 年	前年比
2740	2733	100	4,342	3,936	110	118,968	107,578	111	106,974	96,152	111

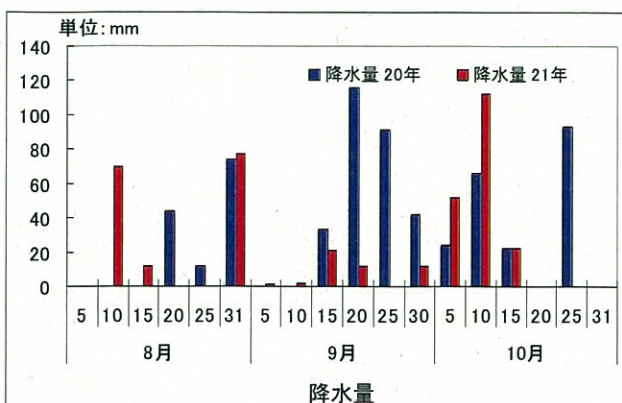
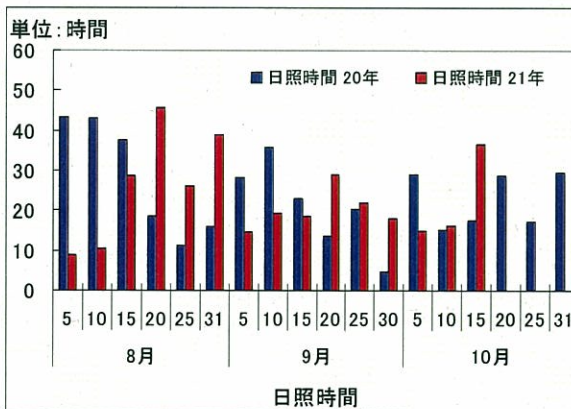
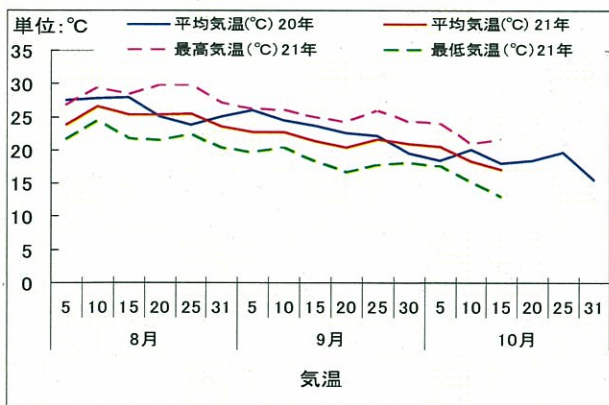
(2) 生産 (生育)・出荷状況

資料 3-7 のとおり

(3) 天候

①これまでの気象の推移 (千葉県 横芝)

気温はわずかに前年を下回るものの安定した推移となっている。日照時間は 8 月の上旬で曇天続きで少ない時期があったが、9 月から 10 月中旬にかけては、積算の前年比で 101%と回復している。降水量に関しては、9 月はゲリラ豪雨等により特に雨量の多かった前年と比較すると極めて少なかったが、10 月に入ると台風 18 号の影響などにより、まとまった降水となった。



資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、

原資料：気象庁「AMeDAS」

② この先の気象状況

- ・ 横芝光

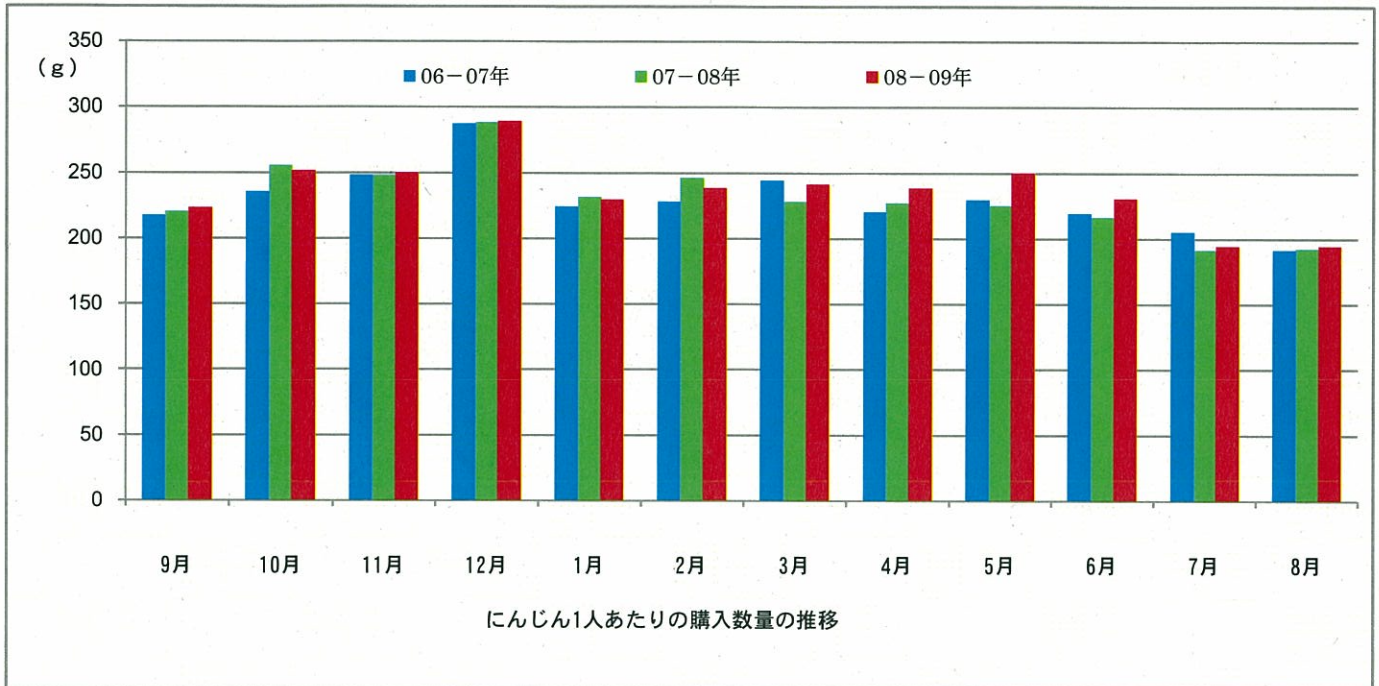
3 需要動向（個別品目）

(1) 家計消費

① 1人あたり購入数量

他品目に比べて、年ごとの購入量に変化が少ない。

大きく価格が低落した本年の5月～6月は購入量は伸びている。

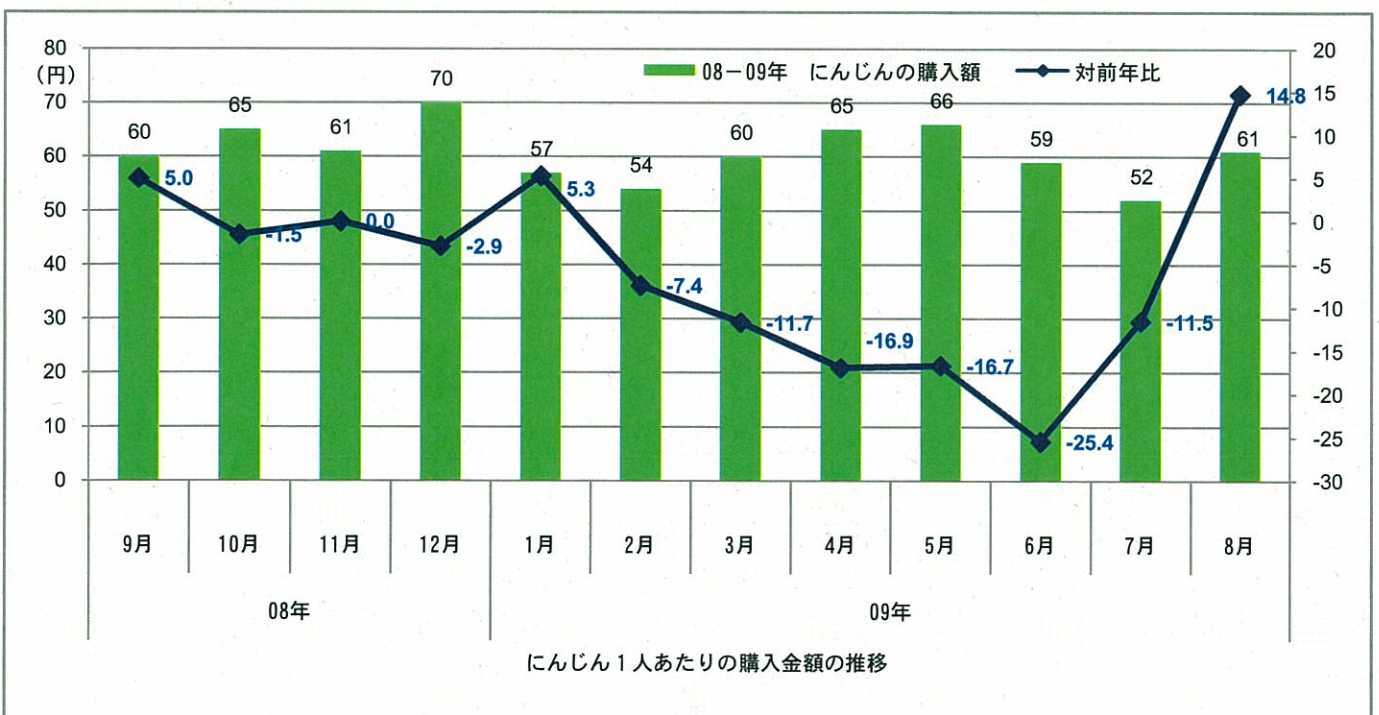


資料：家計調査報告（総務省）

② 1人あたり購入金額

本年5月～6月は大幅に価格が低落し、若干購入数量が伸びたものの、金額は前年を大きく下回っている。

8月は天候不順により東北・北海道の出遅れとなり、価格が高騰した。購入数量はわずかながら減少したが、金額を大きく伸張した。

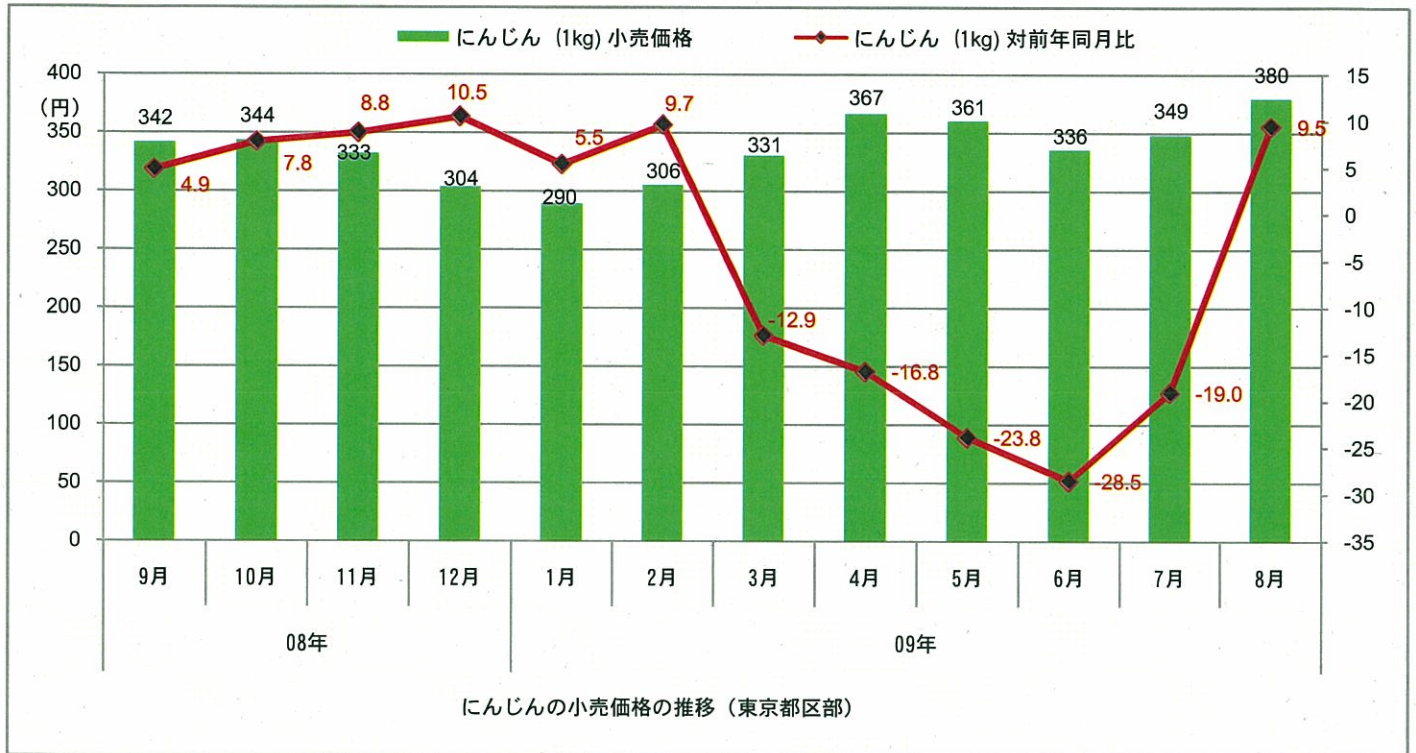


資料：家計調査報告（総務省）

(2) 小売価格 (個別品目)

① 小売価格 (東京都区部)

徳島産の出荷が始まる3月以降潤沢な出回りが続き、7月にかけて価格は前年を割り込んだが、8月に入り、天候不順により東北・北海道産が生育不良・出遅れとなり、出荷量が減少し、卸売価格および小売価格は上昇した。



資料：小売物価調査 (総務省)

② 小売価格実態調査

卸売価格と小売価格の連動性などについて検証するため、平成21年7月から当機構による全国的な小売価格の定点調査が開始された。(参考資料3)

今後、関係データの蓄積を十分に行った上で、検証していくこととする。

なお、本調査結果は、当機構のホームページの野菜情報サイト「ベジ探」中、「野菜の小売実態調査」として公表されている。

(URL: <http://vegetan.vegenet.jp/>)

(参考)

○にんじんの過去における市場隔離等の実施状況

実績なし